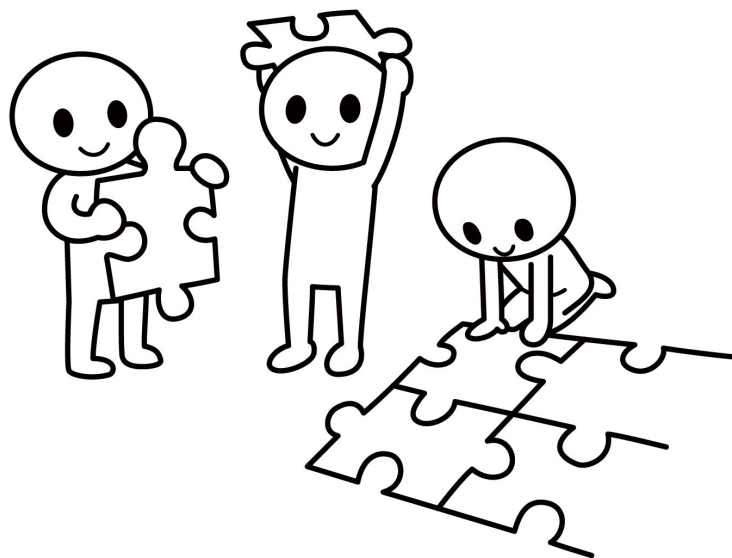


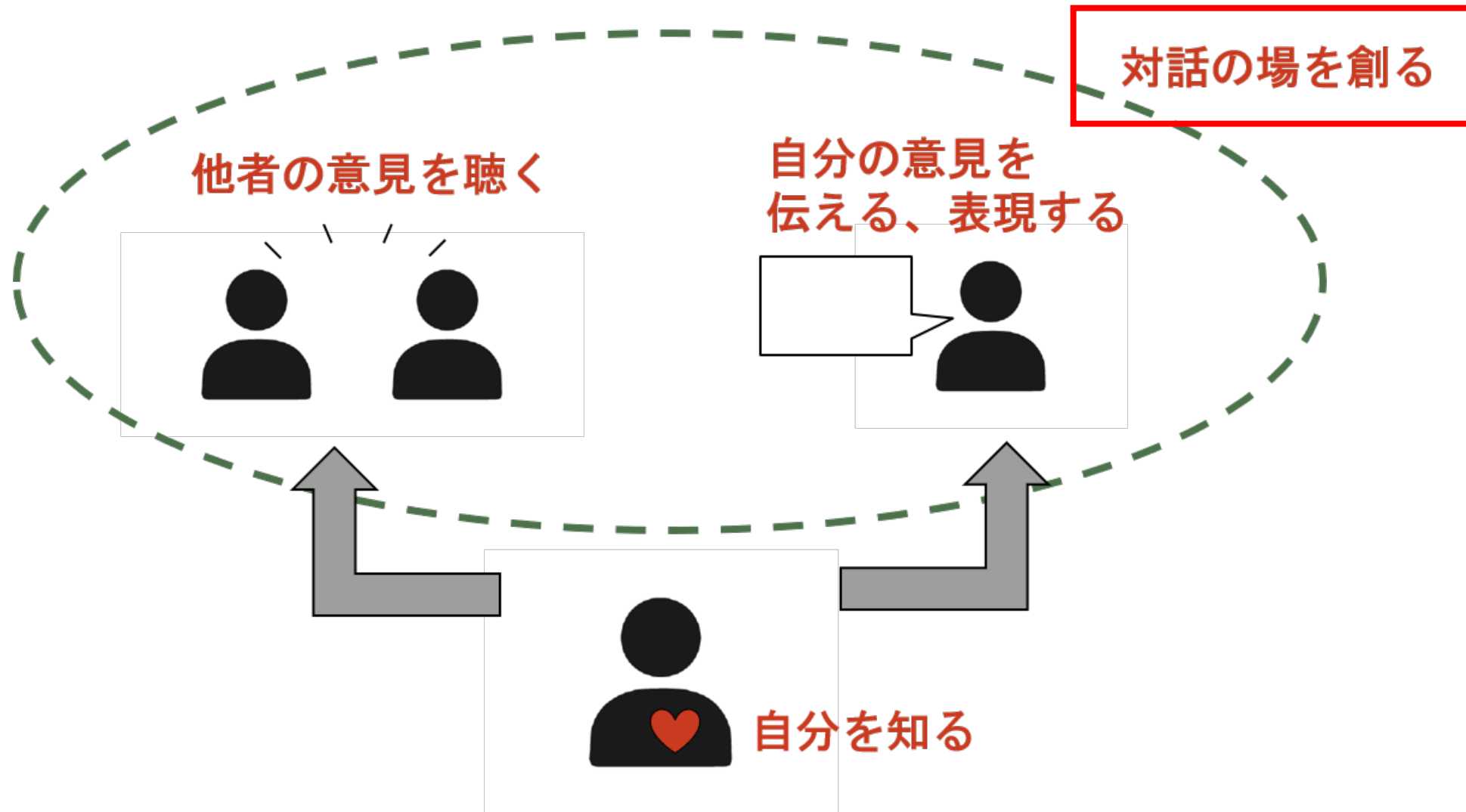
第15回環境放射能除染研究発表会 企画セッション
減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク会合(第13回)

総合討議における 話題提供

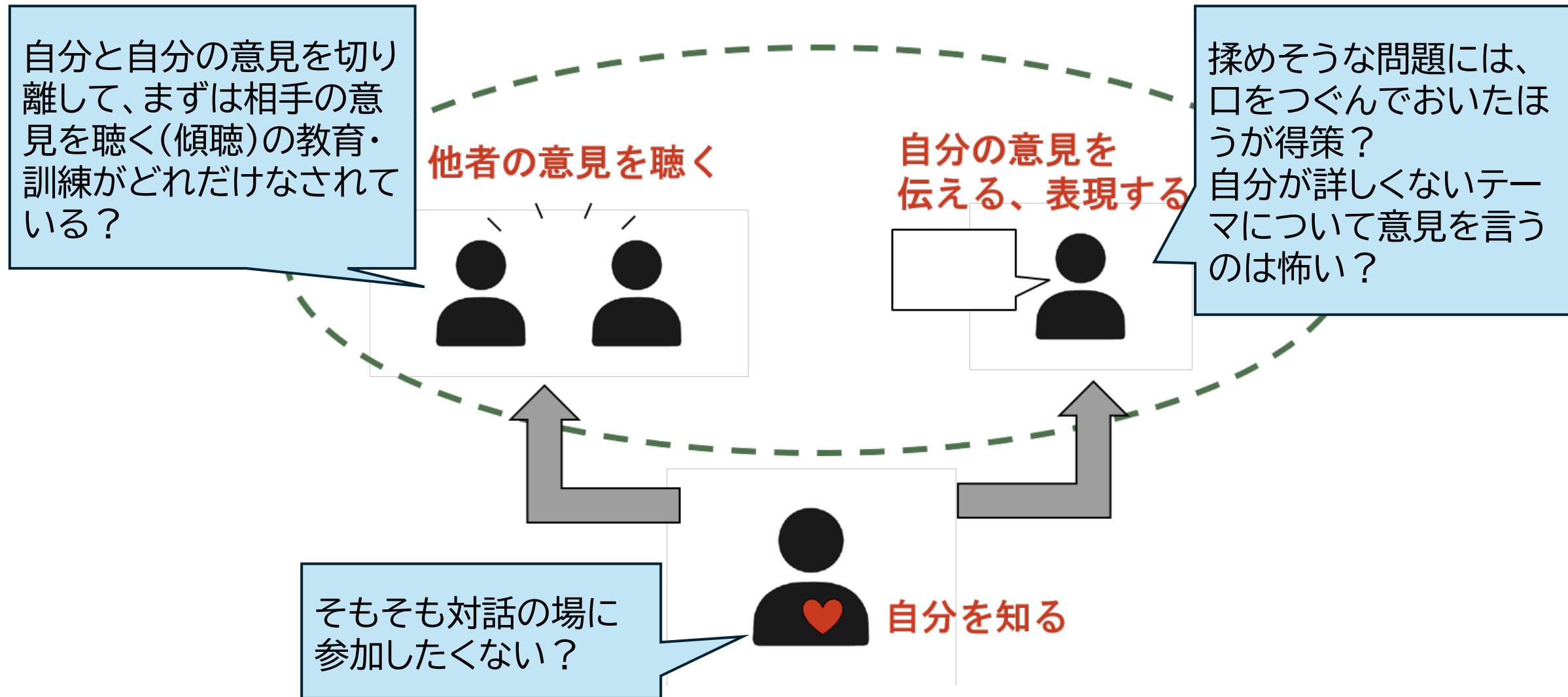


立教大学 環境学部
森 朋子

対話における重要な4要素



対話に参加する個人レベルで見ると...



立教大学環境学部のフィールドスタディ1



フィールドスタディ 福島コースの概要

日付	時間	活動内容	活動場所
1日目 9/10 (木)	開始 8:00 終了 17:30	AM 東京駅集合、東京駅からいわき駅に移動 PM 東日本大震災・原子力災害伝承館の見学…① 双葉町・浪江町フィールドワーク…② 夜 宿舎にて振り返りなど(120分程度:住民との対話、振り返り)	①東日本大震災・原子力災害伝承館 ②復興記念公園、請戸小学校、大平山霊園
2日目 9/11 (金)	開始 9:00 終了 17:00	AM 廃炉資料館、東京電力福島第一原子力発電所見学…③ PM 中間貯蔵事業情報センター、中間貯蔵施設、 福島水素エネルギー研究フィールド見学…④ 夜 宿舎 (浜焼き体験)	③廃炉資料館、東京電力福島第一原子力発電所 ④中間貯蔵事業情報センター、中間貯蔵施設、 福島水素エネルギー研究フィールド
3日目 9/12 (土)	開始 9:00 終了 18:00	AM 相馬市スタディプログラム(フィールドワーク・漁業者との対話)…⑤ PM 相馬市総合福祉センターにてまとめ・ワークショップ…⑥ 相馬駅から東京駅へ移動 夜 東京駅着 解散	⑤相馬市漁業組合 ⑥相馬市総合福祉センター

参加学生へのアンケート調査から



- 当事者(住民・作業員)の心境と生の声を聴きたい
- 原発作業員の現実を知りたい。
- コミュニティの分断と再生のプロセスを知りたい。

- 原発の内部と「放射線」の科学的な実態を知りたい。
- 放射線のリスクコミュニケーション手法を知りたい。



- 地域・産業・復興プロセスの「今と昔」を比較したい
- 15年間の変化と転換点は？
- 農林水産業への影響は？東北3県の違いは？

- 未来の防災・他地域へ活かす「教訓」にしたい。
(高知県、静岡県、石川県出身の参加者あり)



現地見学で期待している効果

